

50歳の女性。後頭下開頭にて血管減圧術を施行した。術中所見では神経根部に接する SCA の枝を認めたが圧痕は伴っていなかった。静脈が知覚枝と運動枝の間を走行し神経を圧迫していたが、脳幹よりの枝のため剥離は困難であった。動脈のみを除圧し手術を終了したが、術後の症状は不変であった。症例2は14年前よりの右三叉神経痛を主訴とした31歳の男性。術中所見では静脈が知覚枝と運動枝の間を走行し、神経に接する動脈は認めなかった。静脈を除圧したところ症状は消失した。諸家の報告では静脈が原因の割合は1.3%から16.1%と幅があり、また静脈の圧迫所見に触れたものは殆ど無く、術中所見のあいまいさを伺わせる。今回の2例はいずれも静脈が知覚枝と運動枝の間を走行しており重要な所見と思われた。

O-48) 外傷性脳血管攣縮における脳循環動態の検討

及川 友好・中川原 譲二
武田利兵衛・和田 啓二
佐々木雄彦・川合 裕
高橋 州平・白居 礼子 (中村記念病院)
末松 克美・中村 順一 (脳神経外科)

【目的】脳血管写上脳血管攣縮を呈した頭部外傷例(くも膜下出血はFisher Group 2以下の症例)にtranscranial doppler sonography (以下TCD)及びSPECTを施行し、その脳循環動態について検討した。

【対象、方法及び臨床経過】男2例女2例。入院時の意識レベルはG.C.Sで10~14。これらの症例に対し受傷後24時間以内に初回時のCT、TCDを施行。以後必要に応じて脳血管写、TCD、SPECTを施行した。2例は経過中脳血管攣縮による症状の出現はなかったが、1例は受傷後2日目より、他の1例は8日目より意識障害、麻痺、失語が出現した。

【結果】TCDでは全例早期より(day 2~day 3) MCAのmean velocityの上昇を認めた。また症状が出現した2例ではMCAのmean velocityの上昇率はいずれも初回測定時の2倍以上であった。Velocityの低下については一定せず前値に復するまで1週間から4週間を要した。

【結論】頭部外傷後のMCAのvelocityは早期より上昇する傾向があり、脳血管攣縮による脳血流の低下も早期から出現する可能性がある。

O-49) 外傷性中大脳動脈狭窄症

辻 篤司・徳力 康彦
武部 吉博・細谷 和生 (福井赤十字病院)
川口 健司・増永 聡 (脳神経外科)

外傷に伴う中大脳動脈狭窄の推移を、経時的なangiographyでとらえ得た症例を経験したので、診断・治療の反省も含め報告する。【症例】73才、女性、交通事故で受傷した。数時間のlucid intervalを得て、consciousness level downとなり、当院に転院となった。CTで右frontalにcerebral hematomaと両側のSylvian fissureにSAHを認めた。神経症状、画像所見共変化せず推移したが、day 8にはsomniaとなり、左hemiparesisも出現した。PAO-SPECTではdistalも含めた右のMCA areaのhypoperfusionがみられ、day 16のangiographyでは右のM1と両側のdistal MCAのsmoothなstenosisを認めた。CTでもSylvian fissureを中心に脳梗塞が生じた。day 23に再検したangiographyでは右のM1に若干のstenosisの残存を認めるものの、両側のdistal MCAのstenosisは消失した。consciousness levelは回復したが、左hemiparesisは残存した。【考察】中大脳動脈の閉塞の原因は内頸動脈からの塞栓、血栓形成、血管れん縮、解離生動脈瘤がいわれているが、本例では、外傷によるM1の直接損傷とSAHにともなう遅発性血管れん縮が互いに影響して生じたものと思われる。直接損傷が何であったかを特定できず、有効な治療が展開できなかった。発症直後にangiographyを施行しておけば右のM1の病態が正確にまた早期に把握され、有効な治療法を選択できたのでは、と反省している。

O-50) 外傷性小脳損傷

北上 明・切替 典宏 (岩手医科大学)
佐々木 盛 (高次救急センター)
箱崎 誠司・小保内主税
小川 彰 (同 脳神経外科)

外傷性小脳損傷はまれで頭部外傷の0.3~0.7%と報告されている。今回我々はその発症機転、臨床経過、治療法、予後について検討し、文献的考察を加え報告する。1980年11月から1994年2月までの13年間に当センターに入院した脳挫傷975例のうち7例(0.7%)に外傷性小脳挫傷あるいは小脳出血を認めた。男性5例、女性2例で年齢は3才から66才までで3例は小児であった。受傷機転は交通事故が4例、階段あるいは道路で転倒が各